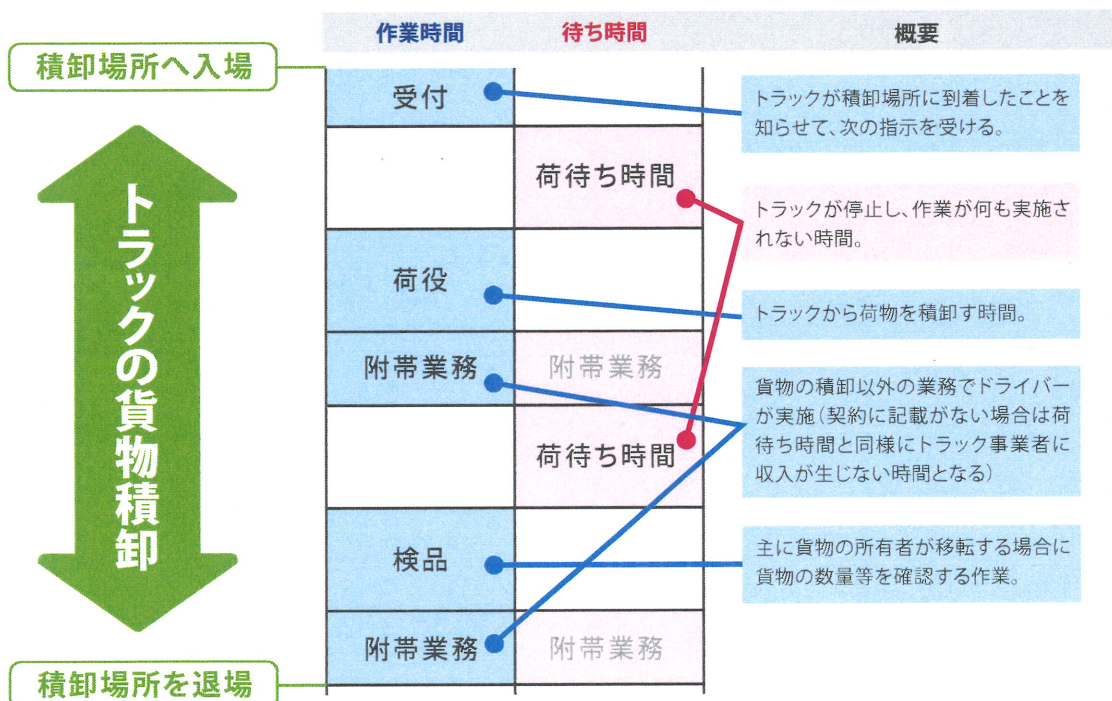


2 トラック運送における生産性向上の考え方

●留意点

トラックの稼働時間を考える際に留意すべき点として、貨物の積卸しにおける荷待ち時間の存在がある。トラックのドライバーから見た場合、積卸における業務は実際に作業している時間（作業時間）と、作業をせず待っている時間（荷待ち時間）に分かれる。この荷待ち時間は荷主にとっても、トラック運送事業者にとっても、価値を生まない時間といえ、これを削減していくことは、運送の生産性向上はもちろん、ドライバーの負担減にも繋がる。

荷待ち時間の削減は、トラック運送事業者のみでは実現し得ない課題であることから、着荷主も含めた荷主の積極的な協力が求められる。



●附带業務の例

棚入れ: 倉庫内の棚に貨物を入れる。

仕分け: 運送終了後の貨物を方面別等に分ける。

荷造り: 梱包されていない商品等の荷造りを実施する。

ラベル貼り: 貨物等に値札等のラベルを貼る。

横持ち: 積卸場所から貨物を移動させる。

積卸場所の清掃: 荷主等の他社の積卸場所を清掃する。

梱包材等の廃棄: 荷卸後に不要となった梱包材等を廃棄する。

貨物の保管: 荷主に代わって貨物の一時的な保管を実施する。